

2011年3月5日(土)、「小笠原流礼法」の木村由紀子先生を講師としてお迎えし、亀遊公民館の和室(定員30名)を会場に交流会を行いました。



当日は日本語学習者4名、一般参加者12名、そして会員13名の合計29名が集いました。小笠原礼法の歴史や心構えのお話をうかがった後、立ち居振る舞いの実習を行いました。参加者からは、木村先生の着物姿や身のこなしの美しさに感嘆の声があがっていました。小休憩と自己紹介の後、懐紙や紐を使った実習も行いました。

会場の広さや時間的な制約はありましたが、初めて会った方々ともすぐに打ち解けて、会場には笑い声が絶えず、楽しい交流の一時を過ごすことができました。



以下、5名の皆様からいただいたご感想を紹介します。

日本文化は身につければ身につけるほど、奥が深くて好きになってきました。

篠原絵里さん(台湾)

マナーを学ばせて、とても貴重な時間となりました。美しい動きを身につけて、美しくなりたいです。

松田郁美さん

Very interesting! Japanese culture and rules of etiquettes can be very confusing because Western cultures often have opposite rules. It was nice to hear explanations to help me understand why things are done a certain way. Thank you.

Sheila Bergan(アメリカ)

会員さんの紹介で参加させていただきました。私自身は一年前から勉強しているのですが、何回聞いても新しい事を学んだ気持ちになります。小笠原流の精神が本当にすばらしく、ボランティアに携わる一人として、あらたに原点にかえることができました。ありがとうございました。

大川真由美さん

「全ての作法に理由がある」と繰り返し木村由紀子先生がおっしゃっていた通り、小笠原流礼法を学んで、人への敬意を表わすことや自分の身を守ることなど、自他に対して細やかな配慮を来たす日本人らしさをうかがえて興味深かったです。身近な礼儀作法には会得することがたくさんあることを教えていただき、さらにはそれが山梨県発祥の流派ということに誇りを感じています。実りある会を開いていただきありがとうございます。

今村 麻喜子さん(23 歳)

(事務局)